

3期に亘り

☆「千代目」☆

村議にて ① 学習支援

対象：図書館，学生，教育

考えられる効果：双方向の学習支援

④ 対話型「学習支援」
コンセプト

「双方向的学習支援」

～図書館主催の講習会を企画する
所存～

<集環集め>

図書館
(講習会)

- <現状>
- ・ 集客の難い。
 - ・ 機理解説をいかに抵抗
内容の見直し
 - ・ 教員と館との関係は
 - ・ 改善も不可。
 - ・ 真似

「ニーズ」
「学習」

学生の
「ニーズ」
「スタートバック」

学生の限りの
フィードバックを
教員に。

効果のアピール

学生

教員(他部署)

アウトリーチ。
学生にニーズを訴え
ていくという状態。

学生の意向。
との関わりが
他部署に
何らかの窓口

「ニーズ」

教員の協力も
得る

SNSの活用

キャンパス内おしゃべり
館内のビラ配り
布

講義で紹介
最大の広報

教員による
授業での案内

どんな資産を
持っているか
積極的に案内

サポーターの質
→ スコア教育

講習会スポンサー
景品付き

学術情報と
Google は違うことを
教える

広報、セミナー
○ 一歩の前進
○ 9-ゲートに依る
→ 教員の協働

この講習会を受けたら
こんなことができるよと
具体的な目標・効果
アピール

絵、マーク、アイコン
を使って
利用者を誘導

国からの教員に
提案する

脱出ゲーム

単位取得条件に
「講習会参加」

図書館・大学の外に
声をかける

セミナー

興味・必要な情報
を提供。↑
レポートをやる学生を
どうするか?

なぜレポートをやるの?
評価、卒業...
→ この後にどう
使うのか?

利用者画面は
シンプルに
わかりやすく

ごさない
↓
授業の単位を落とす。
↓
教員の協働
11/2/2014

教務務課(他課)
と協働化する

初学者向け

学生サポーターの
力を得る

1-110422

協働
セミナー

書評

新聞マガジンス
記事

学生目線での
記事

学生主体
ワークショップ

学習マンガ

段階的な
講義(講習会)の
実施

繰り返しの
サイクルになるような
内容にする

カリキュラムを
把握する

^{似ている}
他の大学の例を
真似してみる

テーマを教員、
他部署から募る

統計を使って
客観的な
利用効果をアピール

来館者への
困りにとインタビュー
アンケート箱の設置

田だからこそを
強調する

利用者からスタッフへの
声をかけられた内容の
記録